



市保連 だより

2019
(12月)

〔第486号〕

令和元年12月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟
企画広報委員会
発行責任者 江藤 美信
〒860-0004 熊本市中央区新町2-4-27
熊本市健康センター新町分室2階
TEL (096) 322-0096
委員長 山崎 敬太郎
委員 今村 修一 浦田 エミ
森下 美穂 田中 晋輔
新美 美穂

令和元年企画！ 職員アンケート「今のあなたへ質問^{セブン}7！」

日頃から企画広報活動に対し、大変お世話になっております。

さて、今回で4回目となります、人材（職員）に焦点を合わせたアンケート。これは、日頃感じていることをお聞きすることで、同年代の方々との共感や刺激、又は世代間の視点の違い等をお伝えし、より身近な広報誌として読んでいただきたいと考えての企画となっております。

アンケートの方法等は9月から12月にかけてと2月の計5回にわたり、次の対象者に絞って行っています。
【9月・10月】は1～3年目（程度）の職員 【11月】は4～6年目（程度）の職員 【12月】は看護師又は養護教諭
【2月】は主任又は副主任（主幹、副主幹又は指導保育教諭）の順番で、東・西・南・北・中央の各ブロックの先生方をお願いしています。

今回の12月号の対象者と質問内容は以下のようになっています。

それぞれの今や、当時のことを思い出しながら読んでいただくと新たな発見がある！かも？！

回答対象職員 看護師又は養護教諭

《 質 問 》

- Q1 働き始めて今年で何年目になりますか。
Q2 あなたの職種から見て仕事内容や大変さ楽しさ等はどのように感じていますか。
Q3 この園で働くきっかけは何ですか。
Q4 ここが困ったというところは何かありますか。又、その解決法はありましたか。
Q5 この仕事をやってよかったと思えるエピソードを一つ教えてください。
Q6 看護師の友人等に園での仕事を勧めますか？勧めませんか？その理由も教えてください。
Q7 私だけ？ついついやってしまうということとその魅力を教えてください。



イニシャルまたはペンネーム T さん



- A 1 5年目になります。
A 2 健康な子どもを対象としているので病気の予防や体調の変化に気づいていくことが大切だと思いますが、子どもは自分の感情をうまく表現できないし、急変することもあるので、どう対応していくか判断が難しいと感じています。日々の子どもの笑顔や成長は力になります。
A 3 10年ほど前から子どもに関わる仕事がしたくて小児科や子どもの施設で働いてきました。出産を機に退職しました。そんな折知人に紹介されました。
A 4 保育園看護師の業務が具体的にどんなことが、どう働けばよいのかわからず悩む日々でした。園長・副園長・保育士のみなさんに助けられながら、時間の経過とともに解決してきました。
A 5 2人目の子どもさんを預けられる時に家庭訪問で「看護師のT先生もいらっしゃるから安心です」と話されていましたよ。」と担任の先生からきいた時、私も役にたっているのかなぁとうれしく思いました。
A 6 勧めません。病院で働くことと全く仕事内容が異なるので。同じ職種の人と相談できれば良いのですが、一人なので苦悩する気がするから。
A 7 毎朝パンを食べるのが、甘いパンと辛いパンと両方食べたくないので食パンの半分だけにマヨネーズを塗ってトーストし、その後残りの半分をジャムを塗って交互に食べて満足しています。

イニシャルまたはペンネーム M. M さん



西部ブロック

- A 1 9年目になります。
- A 2 まだ未成熟で発達途中にある子ども達と接している中で自分の与える影響を考えると、責任重大であると感じます。また突然の事故によるケガや病気など何が起こるかわからない恐さがあります。ただ、そのような子ども達を見ているとこちらまで自然と笑顔になり、心からいやされます。
- A 3 元々、当園で中学生時代の友人が事務で働いていて、看護師募集の際に別の友人から、私が下の子を出産後、病院を辞め自宅にいる事を聞き、声をかけてくれました。
- A 4 看護師が自分ひとりなので子ども達のケガ、病気など全てひとりで判断しなければいけないので「これで良いのだろうか…」と考える事も多々あります。小児の病気や看護について復習したり、看護師研修に参加させていただき勉強しています。
- A 5 たくさんあるので何かひとつ…というのはとても難しいのですが、朝の出勤時など可愛い笑顔で迎えてくれると、とてもうれしく「今日も頑張ろう」という気持ちになります。
- A 6 どちらとも言えません。何もなければ可愛い子ども達と楽しくすごせますが、何か大きな事故や急な病気、(例えば重篤なアレルギーなど)が起こった時には自分ひとりで判断しなければいけない大きな責任があるからです。
- A 7 今日は絶対に買わないぞ!と決めていても、買い物に行くとついお菓子を買ってしまいます。

イニシャルまたはペンネーム O さん



南部ブロック

- A 1 5年目になります。
- A 2 保育園では、大切な命を預かりながら保育を行っていくので大変ですが、子ども達の日々の成長に携わる事ができ嬉しく感じています。
- A 3 以前は病院勤務をしていましたが、保育園で働く看護師に興味を持ち、純粋で元気いっぱいの子どもの保育に関わりたいと思いました。
- A 4 子育ての経験はありましたが、保育はとても奥が深く、沢山の知識を保育士の先生方に教えていただき、毎日勉強になります。
- A 5 病気などでお休みをしていた子ども達が登園してきた時には、笑顔を見せてくれ、元気いっぱい遊んでいる姿が見られるところです。
- A 6 子ども達の毎日の健康管理を行いながら、保育についても沢山学ぶ事ができとてもやりがいのある仕事ですので勤めたいです。
- A 7 休みの日でも小さい子どもを見かけると、笑わせたりあやしたりしています。子ども達の笑顔に癒されます。

イニシャルまたはペンネーム S. U さん



- A 1 11年目になります。
- A 2 小児科の病棟や外来での経験があれば、病気の時や発育の様子など、もっと適切な対応や保護者へのアドバイスなどできたのではないかと思います。
- A 3 園の近くに引っ越してきた時、ハローワークで保育園で看護師も働けるということを知り、子ども達と一緒に過ごせるのは楽しいかなと思ったのがきっかけです。
- A 4 入園したばかりの赤ちゃんが、なかなかミルクを飲んでくれなかった事です。3~4ヶ月の乳児なのにいろんな事が分かっているんだなと感心しました。解決法はよくわかりませんが、あせらないように気がけています。
- A 5 通勤途中で、ミルクを飲ませていた子が元気にランドセルを背負って、「あっ、先生」と手を振りながら声をかけてくれる事です。
- A 6 子ども好きの方には、毎日子どもの成長する姿や、思わず笑ってしまう事も多いので勤めたいと思います。でも若い方には、病院などの医療現場で頑張ってからでもいいのではと思います。
- A 7 ネコを2匹飼っています。ブラッシングをすると、たくさんの毛が抜けます。抜けた毛を集めて、ついボールを作ってしまう。ネコが自分の毛で作ったボールだと、なぜかよく遊びます。

イニシャルまたはペンネーム M. I さん



- A 1 11年目。
- A 2 専門的な知識や意見、または判断を求められることに重責を感じている。しかし、その責任感、自分の専門性を高め、研修等で学んだ知識を園で活かしていく事、仕事のやりがいに繋がっている。楽しさは、0歳児との関わり。仕事で乳児に触れ合えることは本当に幸福を感じる。
- A 3 以前、他園で6年ほど働き、一度医療現場に戻った。看取りの現場を経験していく中で、子どもたちの生命力にあふれる保育園での仕事が懐かしく、輝かしく思え、もう一度保育園で働きたいという気持ちが強くなった。また、正職員での雇用を探していた為、条件も合った。
- A 4 病気やけがの診断を求められること。しかし、上司、囑託医や近隣の医院に恵まれており、色々な病気やけがの対応方法を相談し学ぶことにつながっており、その対応方法が一つ一つの解決法になっている。
近隣の医院を自分もかかりつけ医にして、医師とのコミュニケーションを図っている。
- A 5 仕事の楽しさや0歳児の愛らしさ愛おしさを娘に伝えていたことが、仕事に興味を持つことに繋がって、娘が助産師になった。
新生児や乳児に関わる仕事に親子で携わり、情報交換など仕事の話が共有できる。
- A 6 若い人には勤めたいが、同年齢の友人には勧めない。
0歳児の保育での抱っこやおんぶなど、自分の体への負担の積み重ねが、年齢とともに体への支障をきたしている。
- A 7 大好きな俳優さんのTwitterでの朝の挨拶を見て、一日の活力にしている。
「大好きな人が今日も生きている！」と喜べる域に達すると、その人の人生の幸福感は高いとのこと。沼にはまるのも、人生が豊かになるひとつの方法です！

さばーと情報（「熊本市子どもの未来応援基金」について）

■助成内容の概要

1. 広く全般に子育てや児童を支援する活動

- ①対象事業 ・地域子育て支援、児童の健全育成、障がいを持つ児童の支援、ひとり親、父親の子育て支援等の活動 等
- ②助成要件 熊本市内に本拠地がある
- ③対象経費 報償費、需用費（食料費は除く）、賃借料、備品購入費（上限総額2万円）等。
- ④助成額 ・スタートアップ枠：初年度5万円、次年度5万円
・企画枠：他の模範となるような活動を行う団体は単年度上限10万円

2. 子ども食堂に関する活動（2019年度新設）

- ①対象事業 ・食事の提供を通し子どもの居場所づくりを行う活動（開設・運営補助枠）
・上記の子どもの居場所づくりに加え、学習等様々な学びの支援を行う活動（拡充枠）
- ②助成要件
・熊本市内で開設し常駐できる責任者とスタッフ1名以上を配置
・継続した運営をし、定款・会則を備えている
- ③対象経費 報償費、需用費（食料費含む）、賃借料、備品購入費（運営補助枠は上限総額2万円）等
- ④助成額
・運営補助枠：年間の実施回数に応じて5万円～15万円
・開設枠及び拡充枠：共に上限5万円 ※1団体1回限り申請可 ※運営補助枠と併用可

■申込期間

- (1)広く全般に子育てや児童を支援する活動：毎年度12月～1月末に次年度の申込を受け
- (2)子ども食堂に関する活動（2019年度新設）：令和元年(2019年)5月末～6月上旬より募集開始予定
（募集の詳細はホームページ等でお知らせし説明会も開催）

■お申込・お問合せ先

子ども政策課（電話：096-328-2156）

12月の予定

会 合	日 時	会 場
理 事 会	12月5日(木)	熊本市国際交流会館 (3F国際会議室)
保育士会役員会	12月10日(火)	市民会館シアーズホーム夢ホール (第1会議室)
園 長 会	12月18日(水)	くまもと県民交流館パレア (9F会議室1)